みのりステージ　マロニエプラザメインホール

藤本美貴トークショー　12:30 ～13:30



3児の母であり、等身大の育児スタイルが多くの共感を集める「ミキティ」こと藤本美貴氏をゲストに迎え、日々の食卓や家族とのコミュニケーション、健康管理の秘訣についてのトークショーが開催された。

かつて栃木米のイベントにも出演経験がある藤本氏は、栃木の農産物の豊かさを絶賛。「献立はあらかじめ決めずその日の気分で決める」というスタイルで、週に一度のまとめ買い食材を使い切る工夫や、忙しい時は野菜たっぷりの味噌汁や豚汁一品で栄養を整える「ミキティ流」の献立術を披露した。料理を効率よくこなすため、オーブンでの同時調理や大量調理からのリメイク術を活用しているほか、夫の庄司智春氏が料理を作るなど家族で協力するエピソードも紹介された。

家事分担（とも家事）の秘訣としては、夫にやり方を具体的に伝え、感謝をしっかり伝えるコミュニケーションの重要性を強調。「自分の心の健康のために、できない時は潔く休む」という姿勢は来場者の大きな共感を呼んだ。また、子どもの野菜嫌いには切り方を変えるなどの工夫をしつつ、「保育園で食べられているなら家では甘えさせていい」という大らかな子育て論を語り、セルフケアについても「3食食べ、しっかり寝て、よく笑うこと」という基本の大切さを説いた。

後半のお悩み相談コーナーでは、仕事帰りの時短栄養料理として「つまみ食い感覚ですぐ出せる野菜などがおすすめ」と答え、食事中にふざけてしまう子どもに対しても「家では甘えさせてあげて、食卓が楽しい場所であることが一番」と温かいアドバイスを送った。

最後に藤本氏は、「食育を難しく考えすぎず、できる時にできることをすれば大丈夫。お母さんやお父さんが笑顔で、家族で食事を楽しめる時間を大切にしてください」と呼びかけ、育児や家事、食生活に悩む人々の心が軽くなるような前向きなメッセージとともに幕を閉じた。

パブリックビューイング



トークショーの様子は、ブレックスアリーナ宇都宮のメインアリーナにおいて、パブリックビューイングとして中継されました。

とちぎ育ちのうんまいもの!クッキングショー　14:00～15:00



ホテルエピナール那須総料理長の荒井皇文氏と、ゲストにU字工事の福田薫氏、益子卓郎氏を迎えたクッキングショーが開催された。

栃木県が誇る農産物のPRと食育の推進を目的とし、「とちぎの食と農業アクションプロジェクト地産地消レシピ&フォトコンテスト」で最優秀賞に輝いた「とちぎっこはぐくみプレート」の中から、家庭でも手軽に作れる「トマチーたまごやき」がプロの指導のもと実演された。

ステージでは、昭和55年から東京都中央卸売市場での出荷量日本一を誇る「ニラ」や、冬春トマトの生産量が全国トップクラスの「トマト」、本州第1位の生乳生産量を誇る「ミルクの国・とちぎ」、那須ブランドに認定されたコクのある「那須御養卵」など、栃木の豊かな農畜産物が紹介された。

調理実演では、荒井総料理長から「お尻のスターマークが甘い証拠」というトマトの選び方や、余分な水分を取ることで水っぽさを防ぎ旨味を凝縮させる下処理、強火で一気に巻き上げる焼きのコツなどのプロのテクニックが伝授された。とちぎ未来大使であるU字工事の二人は、軽妙な地元トークを交えながら手際よく調理を行い、福田氏は強火での一気巻き、益子氏は絶妙な半熟加減の卵焼きを完成させ、会場を大いに盛り上げた。

完成した「トマチーたまごやき」と、ニラやアスパラガスを使った「とちぎ恵みの彩り丼」の試食では、肉やニラの力強い味わいをトマトの酸味と甘みがさっぱりと引き立てる抜群の相性が披露された。

最後に荒井総料理長から、「食材の魅力はそれを作る『人の魅力』でもある。短時間で安価に作れるレシピなので、ぜひご家庭でも栃木の豊かな恵みを味わってほしい」とのメッセージが送られ、盛況のうちに幕を閉じた。

みのりステージ　マロニエプラザメインホール

引継式　15:45 ～ 16:00





主催者挨拶（概要）

栃木県農政部長　廣川 貴之

本日は、第21回食育推進全国大会inとちぎに、県内外から多くの皆様にご来場いただき、誠にありとうございます。出展者をはじめ、関係する皆様のご支援とご協力により、このような素晴らしい大会となりましたことを、心より御礼申し上げます。

本大会では、「とちぎからつながる恵みの輪」をテーマに、食と農のつながりの大切さや、それらが私たちの健康な体と心を支えていることを、さまざまなプログラムや展示を通して実感いただけたものと思います

こうした学びや気づきを、それぞれの地域や日々の暮らしの中で実践し、さらに広げていくことが、食育の輪を次の世代へとつないでいく力になるものと確信しております。

栃木県といたしましても、豊かな自然に育まれた多彩な食と農の魅力を広く発信しながら、生産者と消費者をはじめとしたさまざまな関係者をつなぐ食育の取組を、引き続きオール栃木で推進してまいります。

次回、第22回食育推進全国大会は、来年横浜で開催される国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の会場内で開催される予定でございます。食と農、自然と環境が一体となった中で、新たな学びや出会いが生まれ、食育の可能性をさらに広げる機会となることを期待申し上げます。

結びになりますが、本県で生まれた食育推進の大きな流れが、栃木から人へ、地域へ、そして未来へとつながっていくことを願います。



主催者及び次回開催者挨拶（概要）

農林水産省大臣官房審議官　澤井景子

本日は、第21回食育推進全国大会に多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございます。開催に当たり多大なるご尽力をいただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

食育は、まさに地域の皆様の日々の活動によって支えられ、進められているもの。しかしながら、現代の生活では、私たちの食卓と生産現場との距離がどうしても遠くなりがちです。

そのような中、今回の大会は、農業県である栃木県の魅力を存分に生かしながら、「食」と「農」のつながりを感じることができる大会となりました。全国から集まった来場者の皆様が交流しながら楽しんでいただける、大変意義深い大会であったと思っております。

さて、来年につきましては、すでにご案内がありましたとおり、横浜市において「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）」が開催されます。この博覧会は、「幸せを創る明日の風景」をテーマに、花や緑、農、食を通じて、持続可能な未来の実現を目指すものです。

そして、このGREEN×EXPOの会場において、令和9年（2027年）6月26日（土）に第22回食育推進全国大会を開催いたします。

栃木県からのバトンをしっかりと引き継ぎ、食育の推進とGREEN×EXPOの魅力を一体となって発信していきたいと考えております。来年はぜひ横浜の会場で、皆様とお会いしたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

歌う海賊団ッ!ステージショー　16：20～16：50





歌う海賊団ッ！のステージショーでは、親子連れを中心にたくさんの方に観覧いただきました。最後はボランティアスタッフも含めて、全員でダンスを踊り、会場が一つになりました。